

レーウェンフックのけんび鏡



これは、目に見えないほど小さな生き物、び生物を世界で初めて観察したけんび鏡です。
(複製(ふくせい))



はりの上に観察するものを乗せ、レンズをはさんだ金ぞくの板の反対側からのぞきます。

レンズは一つだけのかん単な仕組みです。



アントニ・ファン・レーウェンフック
(1632-1723)

オランダのレーウェンフックはこのけんび鏡の他にも500のけんび鏡をつくりました。

1676年、レーウェンフックは自作のけんび鏡で池の水を観察して、それまで誰も見たことのなかった小さな生き物を発見しました。